

投資事業評価調書（継続）

部課室名	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 板井 丈夫 (盛 健二)	内線	4003 (4014)
------	---------------------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	約25億円
		県営ほ場整備事業 (担い手育成型)	照来地区	内用地補償費	約0.79億円
所在地			事業採択 年 度	着工年度	完成予定 年 度
美方郡温泉町			H5	H5	H16
			進捗率 (内用補進捗率)		
			85%(74%)		

事業の目的		事業内容			
<p>本地区の地形は急峻で大部分が棚田であり、区画も小区画・不整形で用排水路・農道等が未整備なため、営農に多大な労力を要し、不安定な農業経営を強いられている。</p> <p>ほ場整備により、耕地の区画形質の改善、用排水路や農道等の整備、農地の集団化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。</p>		<p>区画整理 72ha</p> <p>関連事業 地すべり対策事業（国土交通省所管） 県道若桜温泉線道路改良工事 県道丸味温泉線道路改良工事 町道（照来スキー場線）改良工事</p> <p>工事費の負担割合 (国：50%、県：27.5%、町：10%、地元：12.5%)</p>			

進捗状況	<p>本地区の約9割は国土交通省所管の地すべり防止区域内であるため、県土整備部と連携を図り、地すべり対策工事の後にほ場整備工事を実施している。</p> <p>当初は、ほ場整備の基盤切り盛りで対応予定としていた箇所調査を実施した結果、抑止杭などの地すべり対策工事が必要となった。</p> <p>しかし、その対策工事が平成14年6月に完了したことから、ほ場整備の面工事は平成14年度末に完了する見込みであり、平成15年度以降は、換地処分に向けた作業を行い、平成16年度には事業完了の予定である。</p>
------	---

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>当地区は、山間農業地域で水稻、飼料作物等を生産をしているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。</p> <p>農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、換地による農地の集団化を実施し、併せて担い手への農地の集積を促進して生産性の高い農業構造を実現する必要がある。</p>
(2)有効性・効率性	<p>投資効率1.03、所得償還率23.2%であり、事業としての効果が期待できる。</p> <p>ほ場整備事業のなかで道路（県・町道）の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。</p>
(3)環境適合性	<p>周辺地域で発生する公共残土を受け入れ有効に活用するとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。</p>
(4)優先性	<p>営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業を完成する必要がある。</p>

評価の結果	継続妥当	左の理由	上記の理由により継続が妥当である。
-------	------	------	-------------------